



発売元 株式会社ホンダウォーカ

〒943-0173 新潟県上越市大字富岡256-2

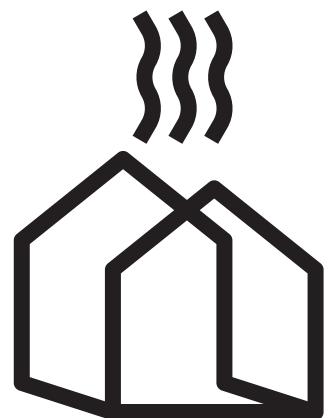
お問い合わせ先 ☎ 025-530-7025

<https://plow-power.com/>

サウナテント ソロ FST02 取扱説明書

S a u n a t e n t

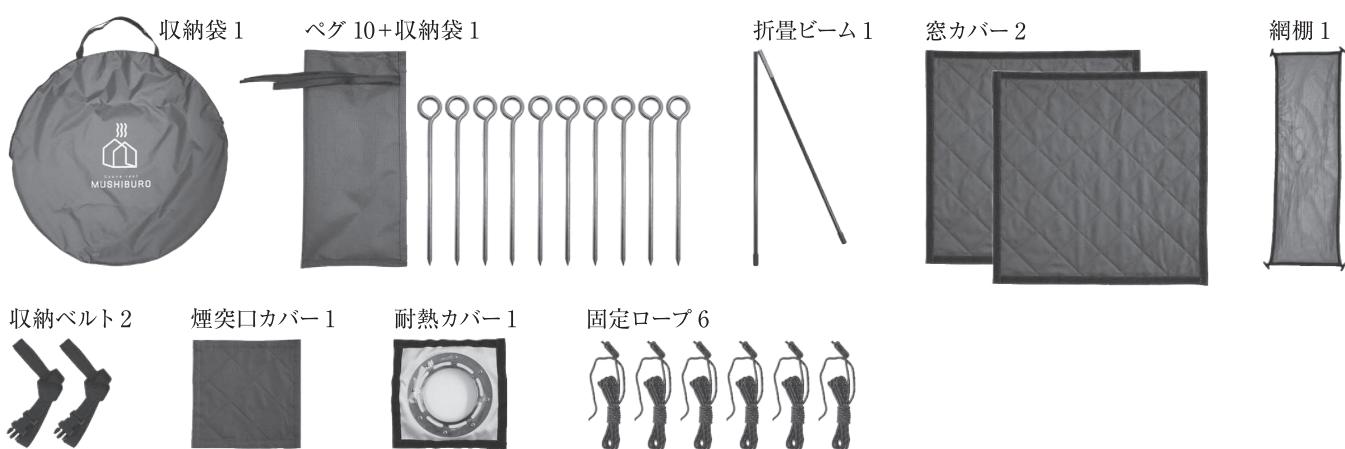
MUSHIBURO



各部名称



付属品



サウナテントの組立・設営方法

① 収納袋から取出し、広げる。

収納袋からテント本体を取り出します。テント本体の収納ベルトを二本とも外し、テントを広げます。

このとき、テントのフレームの力で思わぬ方向に広がる可能性があるため、慎重に収納ベルトを外してください。



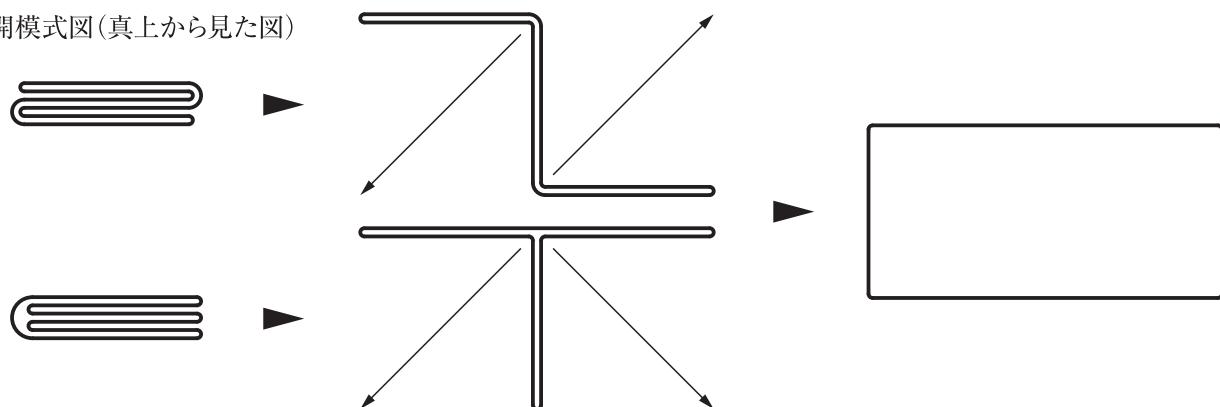
② 立てて、広げる

収納袋からテント本体を取り出します。テント本体の収納ベルトを二本とも外し、テントを広げます。

このとき、テントのフレームの力で思わぬ方向に広がる可能性があるため、慎重に収納ベルトを外してください。



展開模式図(真上から見た図)



③ 天井センターに折畳ビームを入れる

テント内の天井センターに、折畳式のビームを一直線に組み、両端にある受け口に折畳ビームを差し込み設置します。



PLOW サウナテント MUSHIBURO SOLO 主要諸元

型式	FST02
設営後の外部寸法（幅 × 奥行 × 高さ）	850×1,400×1,400mm
設営後の底部寸法（幅 × 奥行）	1,150×1,700mm
テント生地	300D オックスフォードクロス（中綿 60g/M ² ）
生地の特徴	防水撥水、難燃(water and fire resistant)
窓の数	2

フレームの材質

収納袋の材質

収納寸法

定員

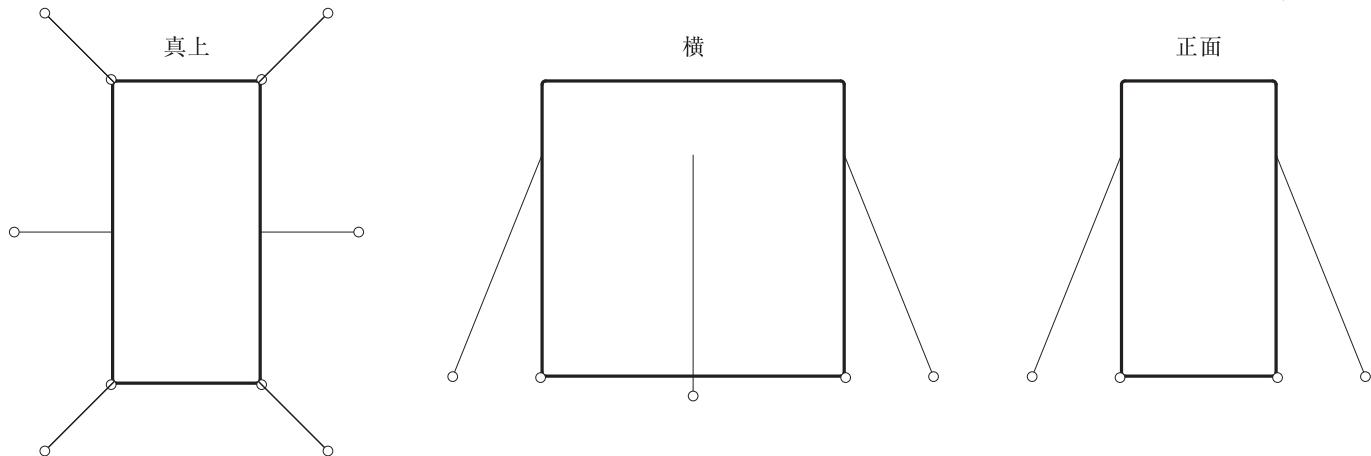
重量

生地の耐(水)圧性

④ ロープとペグで固定する

下記の図の箇所にロープとペグを利用しテント本体を固定します。

—— 固定ロープ
○ ペグ



サウナストーブの設置について

- 1) ストーブ本体が正しく組み立てられているか、損傷はないかを確認し、テント内にストーブを運び込みます。
- 2) テントの煙突ホールの真下にストーブの煙突が来るよう、ストーブ本体の位置を調整します。
- 3) ストーブ本体に煙突パイプ 6 本、最下部に「空気調整弁」付きのパイプ、最上部に「レインキャップ」付きパイプが来るよう取り付けます。(利用するストーブによって異なる場合があります。)

※ストーブ組立・設置詳細はストーブの取扱説明書に従ってください。



サウナテントの畳み方

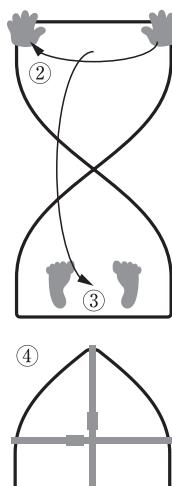
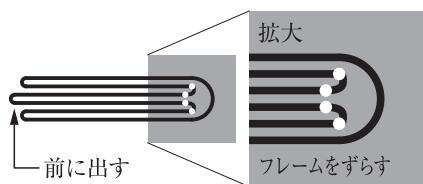
① 畳む

Zに畳む

Eに畳む

畳み方ワンポイント①

畳みづらいときは、隣り合うフレームの部分をずらすようにします。



② 8 の字にひねりる

③ 2 つに畳む

畳み方ワンポイント②

2人で行うことをお勧めします。一人の場合は、短辺の一方に乗り、もう一方を手で掴み8の字を描くようにひねり、体重をかけ畳みます。

④ 2 本のベルトで留める

⑤ 収納袋に梱包する



グラスファイバー+針金

300D オックスフォードクロス、耐水圧 1,000mm

750×760×240mm

1人

約 9kg

2,000mm

生地の色

チークブラウン

ドアの寸法 (幅 × 高さ)

650×1,260mm

窓の材質

TPU

煙突口の直径

120mm

テント生地

固定ロープ 6、ペグ 10+収納小袋 1、網棚 1、テント収納袋 1、折畳ビーム 1、収納ベルト 2、窓カバー 2、煙突口カバー 1、煙突耐熱カバー 1

使用上の注意および禁止事項

この警告事項を守らないと死亡や重傷に至る重大な事故を起こす恐れがあります。

- 製品は安全面に十分に配慮された造りとなっていますが、誤った使用方法や設置方法をすると、火災や一酸化炭素中毒などの恐れがあります。製品の性能をよく理解したうえで安全な使用を心がけてください。
- 煙は煙突から排気されるので通常使用では一酸化炭素中毒の恐れはありませんが、必ず30分に1回程度出入口を開けて換気を行なってください。市販の“一酸化炭素チェッカー”的利用をお勧めします。
- 雨天時でも使用はできますが、天候状況には常に細心の注意を払ってください。悪天候が予想されるときは使用を控えてください。万が一、使用中に悪天候にみまわれた場合は、速やかに使用を中止して安全な場所へ避難してください。
- 河原の中州や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテントを設営しないでください。
- 積雪によりテントの裾が覆われたり、低温化で氷結したときなどは極端に通気性が悪くなります。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして常に換気をしてください。
- 薪以外のもの(例:ガソリン、灯油、プラスチック、ビニール、ゴム、竹、発泡スチロール、ベニア、化学塗料で塗装された木材など)は絶対に燃やさないでください。また、サウナストーブを焼却炉として使用しないでください。本体や煙突の耐久性を弱めたり有毒ガス発生の原因となる恐れがあります。
- サウナストーブの上や周囲および煙突の周囲には、紙・衣類・洗濯物など可燃物を絶対に置かないでください。火災の原因となる恐れがあります。
- サウナストーブの周囲には、ガソリン、ベンジン、スプレー缶など引火の恐れのあるものを置かないでください。爆発や火災の原因となる恐れがあります。
- ストーブや煙突は、絶対に改造しないでください。正常な機能が損なわれる恐れがあります。
- テント換気は常に確保し、物などでふさがないでください。テント内空気が不足して酸欠状態になる、あるいは煙や炎が室内に戻ってくる恐れがあります。
- ストーブ燃焼中に本体にヒビが入るなど、破損した場合は使用を中止してください。
- 灰は、必ず不燃性の容器に入れてフタをし、可燃物のない場所に保管し、完全に鎮火後、廃棄してください。灰を処理するときに紙袋や樹脂製バケツなどは絶対に使用しないでください。灰が入っている容器を可燃物の上に置かないでください。灰は冷めているように見えても長時間にわたり火種が残っている場合があります。
- サウナストーブから離れるときは、薪投入扉が完全に閉まっていることを確認してください。燃焼中の薪や火種がストーブの外に落ちて、火災の原因となる恐れがあります。
- サウナストーブは水平な床面に設置し、テントサウナ以外では使用しないでください。
- サウナストーブの薪投入扉は薪の追加、調整など以外では、必ず閉じたまま使用してください。
- 灰取出し口は、着火時以外は必ず閉じて使用してください。
- サウナストーブとサウナテントは触れないよう離し、設置してください。
- ペグが刺さる地面(土)で設置し、テント本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながることがあります。
- 灰取出し口の開閉操作、着火、薪の投入など、サウナストーブを扱う際は必ず耐熱グローブを装着してください。
- 心臓病、高血圧症、皮膚疾患、お年を召した方、病気療養中の方、薬服用中の方は必ず医師にご相談のうえご使用ください。それ以外の方についても、体調に合わせてご入浴ください。
- 当テントの定員は1名です。大人数での使用は控えてください。

この注意事項を守らないとケガを負う、または製品に損傷を与える恐れがあります。

設置時

- 一人でも可能ですが、二人以上で作業を行なう方が安全かつ効率的に設置できます。
- 安全のため、グローブを着用してください。

- 石や木の枝等、テントを傷付ける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設置してください。
- 煙突の最上部に可燃物がない事を確認してください。(離隔距離 3m 以上)
- 風が強い場所や状況での使用は避けてください。
- 軒下や木の下などの設営は避けてください。また、当テントは屋外専用です。
- サウナストーブの周囲には可燃物を置かないでください。
- サウナストーブの上に置くサウナストーンは崩れないように積み上げてください。
- 常設はせずに、使用の都度、撤去してください。
- 設置に所轄の関係機関による許可が必要になる場合があります。

使用時

- 燃焼中、および燃焼後しばらくの間、ポール、サウナストーブ、煙突、サウナストーンは高温になっていますので絶対に触らないでください。火傷の原因となります。
- サウナストーブの輻射熱を長時間、直接皮膚にあてると火傷の原因となります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、身体の不自由な方がサウナストーブの近くにいる場合は、まわりの方が声をかけてください。
- 薪の入れ過ぎや燃焼空気の取り入れ過ぎなどによる、サウナストーブおよび煙突の過熱に注意してください。過熱は、サウナストーブ本体および煙突の破損や劣化を早めるばかりでなく、火災につながる恐れがあります。
- 十分に乾燥した薪をご使用ください。薪以外の燃料は使用しないでください。乾燥が不十分な薪は燃えにくく、不完全燃焼を起こし煙が多く発生します。
- サウナストーブ表面は、使用後本体が十分に冷えている状態でお手入れしてください。火傷の原因となります。
- メンテナンスの際は、グローブなどを着用し作業を行ってください。
- 燃焼中に薪投入扉を開ける場合はゆっくりと行ってください。急な大量給気により、炎が扉から外に出る恐れがあります。
- サウナストーンは必ず専用のものを使用してください。石の中に空気が混じっていると、加熱により破裂し怪我を負う場合があります。
- サウナストーンに水をかける際は石上で蒸発できるよう少しづつゆっくりかけてください。一度に多量の水をかけると非常に熱く感じたり、場合によっては火傷をする恐れがあります。

撤去時

- サウナストーブ、煙突、サウナストーンは大変熱くなっています。十分に冷めていることを確認してください。
- ベンチなどを撤去して十分なスペースを確保してください。
- 一人でも可能ですが、二人以上で作業を行なう方が安全かつ効率的に撤去できます。
- 安全のため、グローブを着用してください。
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納・保管してください。
- サウナストーブや煙突に水をかけて冷やさないでください。(本体のサビや劣化等の原因になります)
- 灰は、サウナストーブ本体が冷えている状態で処理してください。火傷の原因となります。
- 灰は、必ず不燃性の容器に入れてフタをし、完全に鎮火を確認し、廃棄してください。
- 灰を捨てる際のゴミの分別は各地方自治体の指導に従ってください。